

アスパラガス冬季管理（保温前）について

R3.12

アグリ技研㈱

1. 地上部管理と刈取り時期について

本年も秋の天候に恵まれ日照量も豊富です。昨年同様に光合成期間も長く良好な状態で推移をしていると思えます、今後は養分を貯蔵根に転流させるためには、刈取まで十分な灌水と追肥（ウルル 10 号）を行って春芽に繋げましょう。

◎1 年生株（収穫 1 年目）は、休眠も浅いので茎葉の黄化 80%前後で刈取。

◎多年生株は、十分に黄化状態で刈取（極端に早く刈取ると収量減、品質低下）

2. 作業の流れについて

作業	ポイント
地上部刈取り	地下茎に余り刺激の無いように刈取り作業をします。
茎枝葉の撤去	茎枝葉を残らない様に圃場外へ持ち出す。
バーナー処理(1 回)	ハウス内全面をムラなく焼き、菌密度を低下させる。
表土の掻き	多年株は鱗芽が見えない程度に軽く行う。覆土 8~10 cm
バーナー処理(2 回)	斑点性など多かつた箇所は特に徹底的に処理。
冬肥	畝上に施肥、その上に堆肥散布（混用可）。
除草剤散布	灌水後にセンコル水和剤 1.5 袋/1000 (10a) を散布。
内カーテン準備	地温 18℃前後で徐々に萌芽開始。
灌水	晴天時の午前中に十分に行いハウス内温度を上げる。
蒸込、保温開始	一斉にハウス内の温度を上げ蒸し込み萌芽促進する。

3. 冬肥・春芽追肥について 「10a 当たり施肥例」

肥料名	施肥量	備考
鮮彩美人 643	6 袋	有機 100%質肥料 成分 6-4-3
豊作源	8~10 袋	連作障害軽減資材
珪リン酸	2~3 袋	ミネラル・P、Kの有機肥料
腐植酸	3~5 袋	腐植向上資材
モンネン	3~5 袋	CEC（保肥力）の向上資材
カルタマQ	5~10 袋	PH調整有機卵殻石灰
全緑堆肥	30 袋	地力向上、保肥力向上

◎春芽収穫期の追肥には

「鮮彩美人 066」又は「センサイオール 1」を 7~10 日（収穫量に応じて）に 1.5 袋追肥